

大阪府建築防災啓発員 研修③

2023年

危機管理室防災企画課
事業調整室都市防災課



目次

①大阪府において想定される地震と対策について

(危機管理室防災企画課)

②耐震化の必要性と基礎知識

(都市防災課耐震グループ)

③感震ブレーカーの必要性について

(都市防災課密集市街地対策グループ)

④確認テスト



密集市街地とは？

道路が狭く、老朽化した木造住宅等が**密集**している地域

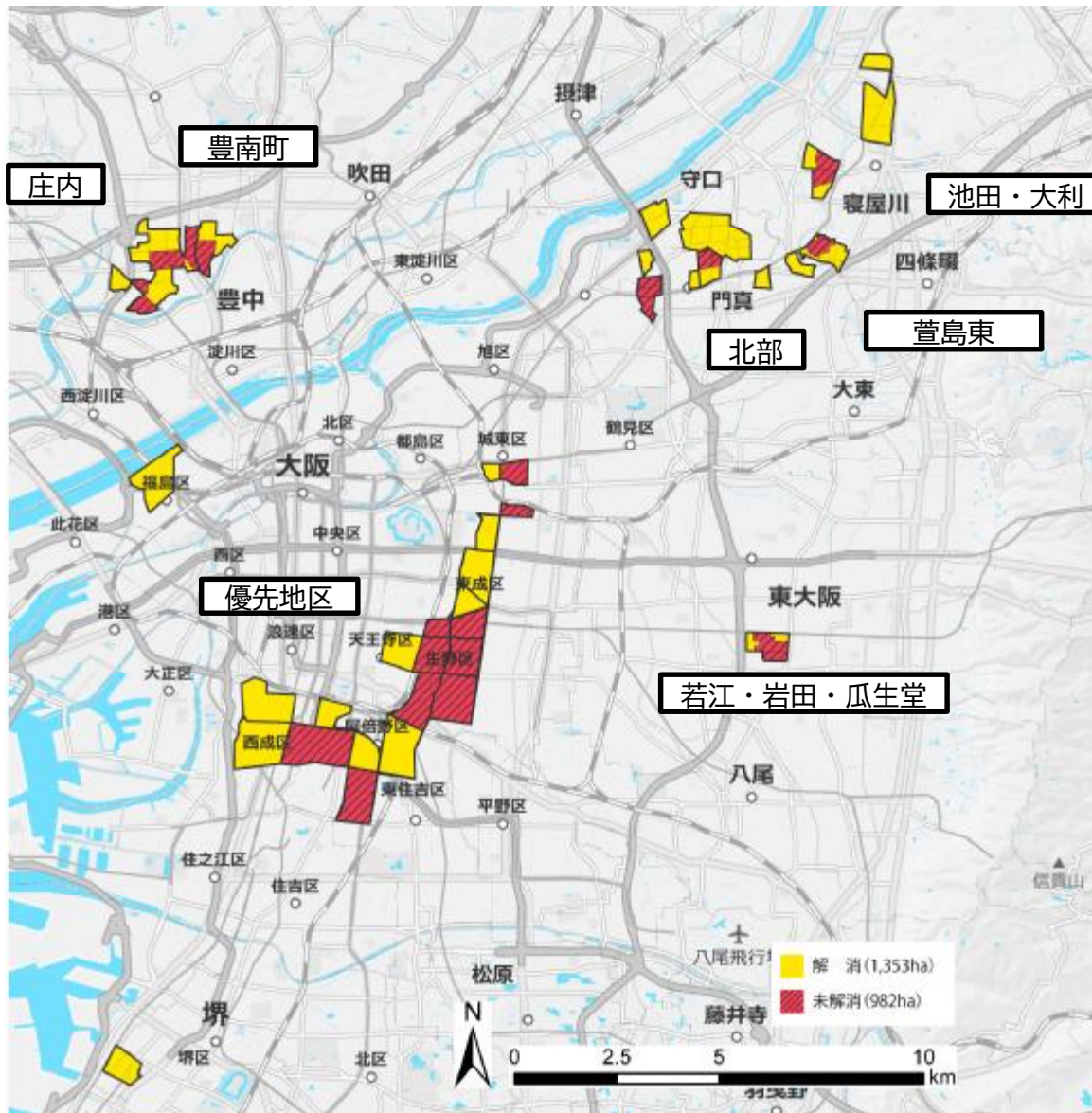


- 地震時等において火災が発生すると、大規模な火災になる危険性が高い
- 道幅が狭いため、家屋倒壊により避難が困難

➔ 「地震時等に著しく危険な密集市街地」



大阪府内の地震時等に著しく危険な密集市街地



市	H24当初	R4年度末	
		解消	未解消
大阪市	1,333ha	692ha	641ha
(堺市)	54ha	54ha	0ha
豊中市	246ha	149ha	97ha
(守口市)	213ha	213ha	0ha
門真市	137ha	74ha	63ha
寝屋川市	216ha	160ha	56ha
東大阪市	49ha	11ha	38ha
合計	2,248ha	1,353ha	895ha

全国ワースト1の規模



大阪府内の密集市街地対策(ハード対策)

老朽建築物等の
除却・建替え



道路拡幅整備



大阪府における「地震時に著しく危険な密集市街地」の解消目標

R7年度末までに9割以上解消

R12年度末までに全域を解消



阪神・淡路大震災(1995.1.17)



- ・大規模な建物倒壊・火災が発生(4万人が建物の下敷きに)
- ・住宅が密集する地域で、大規模な火災が連鎖して発生

火災件数

293件

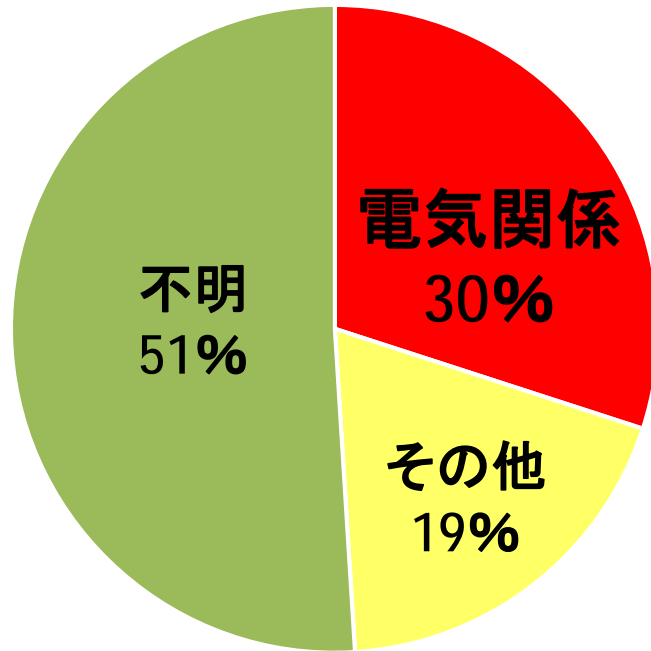
焼損棟数

7,574棟

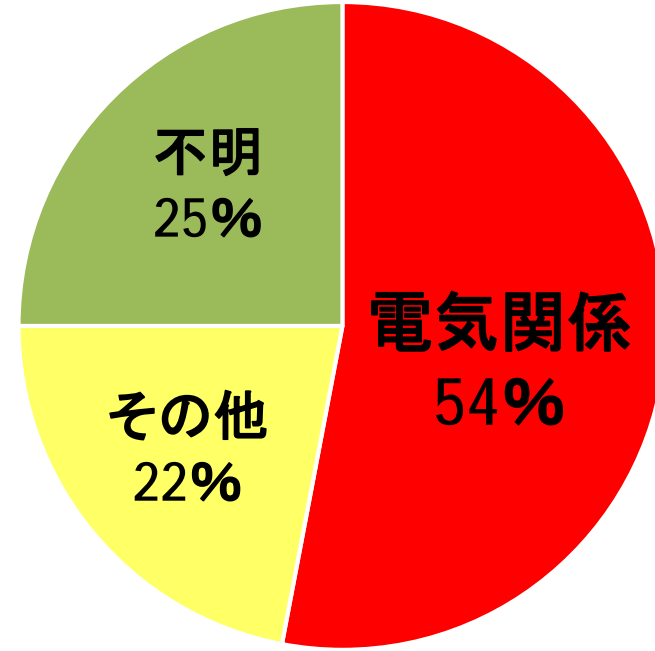
阪神・淡路大震災の火災跡 (神戸市長田区)



地震時の火災の原因



阪神・淡路大震災の火災原因



東日本大震災の火災原因

地震による火災の過半数は「**電気火災**」が1番多い！！



地震時の火災の対策



電気火災の対策はどうしたらいいの？

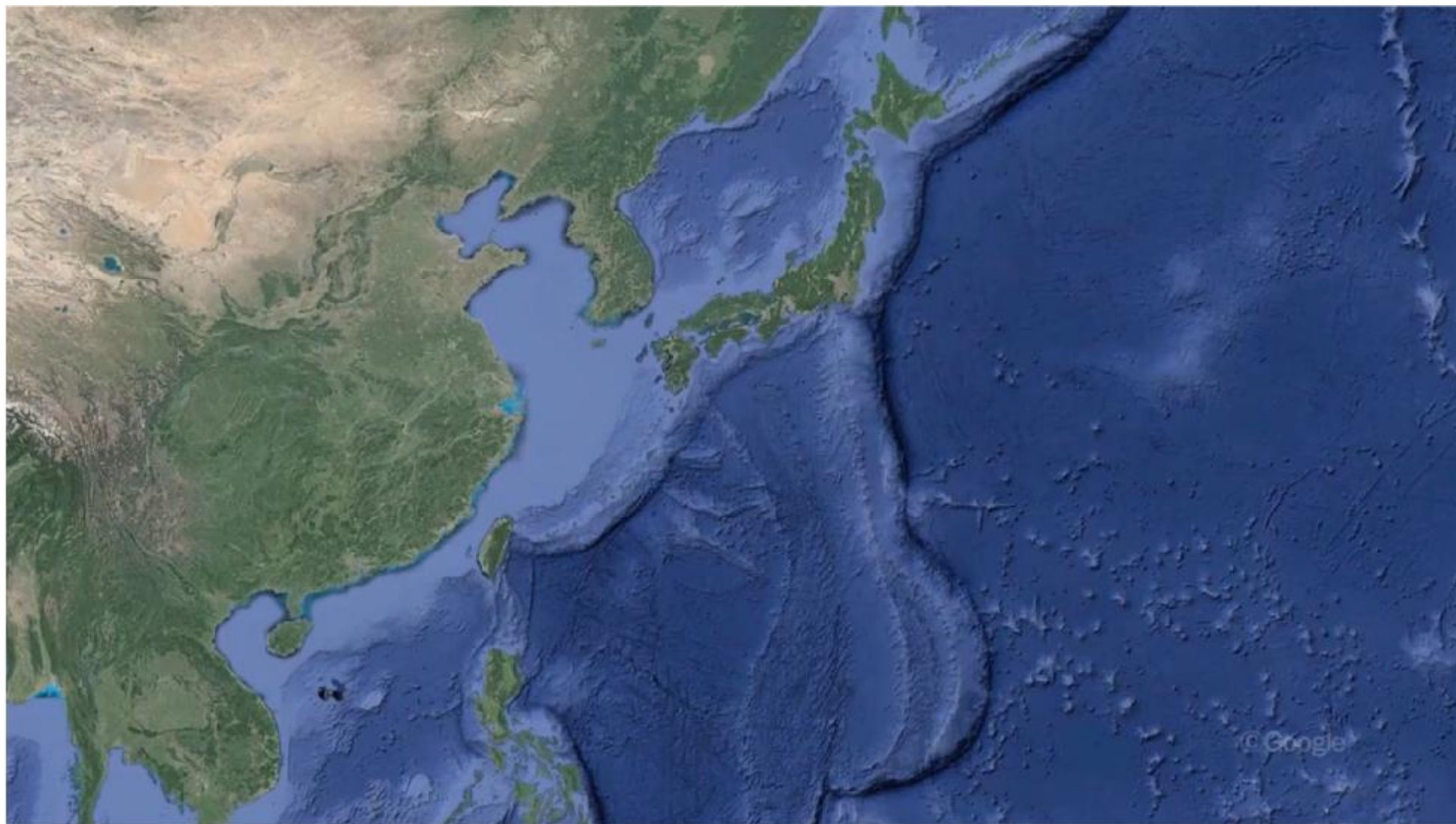
感震ブレーカーが効果的です

感震ブレーカーってなに？

地震時自動的にブレーカーを落とし電気を止める器具です



大規模地震時における電気火災対策について(内閣府作成)



大規模地震時における電気火災対策について(内閣府作成)

動画をもう一度ご覧になりたい方は
上記QRコードを読み込んでいただくか
下記HPよりご視聴ください。



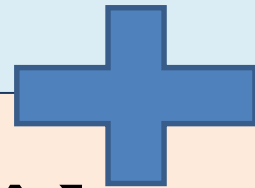
URL : https://wwwc.cao.go.jp/lib_012/kasaiboushi_all_j.html



通電火災対策

【地震時、自宅にいる場合】

- ・自宅を離れる時ブレーカーを落とす
- ・自宅に帰ってブレーカーを戻す前に、出火の恐れが無いか部屋の状況を確認
- ・電気を必要とする医療用機器をご使用の場合、バッテリー等を用意



【地震時、外出している場合】

- ・感震ブレーカーの設置



感震ブレーカーについて



おもりタイプ



ばねタイプ

簡易タイプ

おもり玉式 ・ばね式

- ・工事不要
- ・価格 約3千円～1万円
- ・揺れと同時に電気が遮断
(非常用照明を常備)



分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)

分電盤タイプ

- ・工事必要
- ・価格 約2万円～8万円
- ・遅延機能あり



感震ブレーカーの助成制度

大阪府都市整備推進センター「地域活動支援」

対象区域

大阪市(住宅市街地総合整備事業区域内の指定された町丁目)、堺市(新湊地区)、豊中市(庄内、豊南町地区)、守口市(東部、大日・八雲地区)、門真市(北部地区)、寝屋川市(萱島東地区、池田・大利地区)、東大阪市(若江・岩田・瓜生堂地区)

対象内容

密集市街地内の自治会等が加入世帯の約5割以上の世帯へ感震ブレーカーを購入・設置する活動

対象者

自治会等

助成金額

2,000円/個を限度



お問い合わせ先
公益財団法人 大阪府都市整備推進センター街づくり支援室
TEL 06-6262-7713

ご静聴ありがとうございました

